

No41. 2度目の訓練を実施して



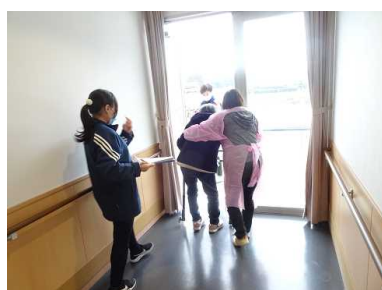
1月14日現在、日々コロナウイルス感染のニュースが中心で、全国では7府県に2回目の緊急事態宣言が発令されました。熊本県でもたくさんの方の新規感染者やクラスターの報告がされており、施設でも緊張感が増す感染症対策の生活が続いています。

前回の新型コロナウイルス対策訓練（12/8：全利用者濃厚接触時）、1/13：陽性者が残った場合を想定し、2回目の対策訓練を実施しました。

- ①疑い者発生→ ②課長、医務に報告→ ③危機管理委員会→ ④疑い者受診→
- ⑤陽性確定→ ⑥全職員招集→ ⑦始動→ ⑧職員の勤務割り、利用者の部屋割り
- ⑨利用者対応→ ⑩資材管理→ ⑪設備管理

マニュアルの流れに沿って実施しました。前回訓練の反省点等を活かし、疑い者受診時の職員や公用車停車位置、設備の保管場所把握、レッドゾーン、グリーンゾーンの出入り口名称の掲示、資材保管場所の位置、職員のゾーンへ出入りする流れ等一つ一つ確認することができました。

今回の訓練でも施設内に感染者が出た場合がどれだけ大変なのかを体験できました。感染症対策に応じた生活を利用者、職員確実に実施して行こうと思います。



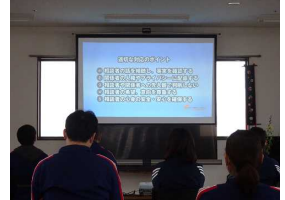
No43. 風通しの良い職場とは

1/26 ハラスメント防止対策研修

パワハラによる自殺などのニュースは後を絶たず、令和2年6月1日に「パワハラ防止法（労働施策総合推進法の改正）」が施行されました。令和4年4月1からは中小企業も対象となります。啓明会ではいち早く就業規則に取り入れ、令和2年4月よりハラスメント防止規程（セクハラ・パワハラ・マタハラ・パタハラ・ケアハラ）を施行しています。職員が働きやすい職場を実現するためを目的としています。

今回の研修ではパワーハラスメントの基礎知識を中心とした内容です。

「どこまでがパワハラなのか?」「これもパワハラじゃないか?」
という疑問視される中パワハラには6つの定義があるそうです。



【パワハラは大きく分けて6類型に分類されます。】

①精神的な攻撃（脅迫や名誉毀損、侮辱、酷い暴言）

・上司が部下に対して、人格を否定するような発言

②身体的な攻撃（分かりやすい暴力や傷害のことで、殴る・蹴る・突き飛ばす）

・上司が部下に対して、殴打、足蹴りをする

③過大な要求（業務上明らかに達成不可能なノルマを課すこと）

・上司が部下に対して、長期にわたる肉体的苦痛を伴う環境下での勤務に直接関係のない作業を命ずる

④人間関係から切り離し（無視、隔離、仲間はずれにする）

・自分の意に沿わない社員に対して、仕事を外し、長期にわたり別室に隔離したり、自宅研修させたりする

⑤過小な要求（程度の低い単調な作業を与え続けること）

・上司が管理職である部下を退職させるため、誰でも遂行可能な業務を行わせる

⑥個の侵害（プライベートな内容に過剰に踏み入ってくる）

・思想・信条を理由とし、集団で同僚一人に対して、職場内外で継続的に監視したり、他の社員と接触しないよう働きかけたり、私物を写真撮影したりする

もし職員がハラスメント被害にあった場合、少なからず仕事に支障がでてしまいます。すると利用者の皆さんに迷惑をかけてしまう可能性があります。研修では規程による職員への周知、研修や相談窓口の設置や、相談申請の申請方法、プライバシーの保護等を勉強できたと思います。

衛生委員会を中心に職員のメンタルヘルスやハラスメント防止対策の周知や研修を実施し、ストレスが軽減できる、話し合える、相談できる風通しの良い環境作りを職員全員で取り組み、規程の目的「働きやすい職場」に繋げて行ければと思います。



No44. コロナ鬼をやっつけろ

～ 2/02 鬼は外福は内♪節分豆まき～

節分に行く豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式といわれています。昨年から続く新型コロナウイルス感染がまだ終息の見通しがつかず、世界中で猛威を振るっています。施設でもコロナウイルスを鬼と見立て豆まきをしました。

突然です!。コロナ鬼が施設に入ってこようとした。「おにはーそと、ふくはーうち♪」利用者の皆さん、鬼を見つけると恐れながらも勇敢に立ち向かい、豆(新聞紙で作ったボール)を鬼めがけ一斉に投げ出しました。それでもコロナ鬼はなかなか怯みません。「これでもかー、あっちいけー」と利用者の皆さんと職員の共闘によりコロナ鬼はやっと退散していきました。

熊本県でも2/7まで県独自の緊急事態宣言が発令されております。施設でも気を引き締め、できる対策を確実に実施して行きたいです。





No45. お菓子のおかしなおはなし

～ 2/05 管内買物～

利用者の皆さんは毎月オープンカフェ (No17で紹介) でリクエストのおやつを楽しみにされています。他にも各行事の時は行事にあったおやつを提食していますし、ケーキ、ドーナツ、ピザなどたくさんのおやつやジュースを楽しまれていると思います。

それでも今年度2回目となる今回の管内おかし買物を大変楽しみにされていました。多目的ホールを駄菓子屋さんに見立て、すぐに食べてもいいようにテーブルも設置しました。たくさんのお菓子の中から自分の好きなものを好きなだけ買い、好きなだけ食べる。よく考えてみるとなんて贅沢な一時でしょうか。店員から袋詰めして貰うとき、食べているときの満面の笑みにはお菓子の懐かしい味を噛みしめられているようでした。今はたくさんある高級なお菓子 (ケーキ・和菓子) の方がもちろん美味と思います。けれども10円、30円の駄菓子も「一杯買って美味しいよ」「これが一番好き」と、皆さんにとって子どもの頃の懐かしい気持ち雰囲気もふくめ、高級なお菓子にはないまた別な美味しさを楽しまれていました。というお菓子のおかしなお話でした。



No46. アイデアを手作りで

2/19

コロナウイルスの感染経路は咳や会話によって生じる「しぶき」を吸うことによる飛沫感染が主体ですが、ウイルスの付着したものに触れた手で口・鼻・目を触ったりすることによる接触感染もありますし、換気の悪い環境では、咳・くしゃみ等がなくても感染（空気感染）するとも言われています。



施設でも対策マニュアルを作成し、コロナを持ち込まないように日々予防しています。そんな中一人の支援員が手作りで消毒液ハンドプッシュタイプをフットプッシュタイプ（手で押さなくても良い）にできる木工作品を作ってくれました。今は職員室の入口に設置しており、職員室への出入りの際はワンプッシュしております。その他感染者が出た場合のゾーニング時に使用する手洗い受けを職員出入り口に設置し、洗い流した水しぶきが飛んだり、跳ねたりしないように考えてくれました。少しでも利用者の皆さんや職員の感染リスクを下げる思いで作成されたようです。思いはみんなにつながっていると思います。とてもありがたいです。

これからコロナワクチンの接種等どれくらいの時間で利用者の皆さん、職員まで回ってくるのかは分かりませんが、明るい未来を思い日々できる対策を実施して行きます。



No47. 次は、次も、勝ちます

2/25

第二苓山寮紅白ミニ運動会!

どちらの組の笑顔がたくさん見られるのでしょうか?

玉入れ、ボールまわし、借り物競走、匍匐前進、パン食い競争で競われます。

「はじめます」大きな声で開会が宣言がされました。「ソー」一生懸命競技に集中する選手の真剣な表情、「がんばるぞー、おー」チーム競技の始まりの掛け声、「よっしゃー」勝ったときの叫び声、「えーっ」負けたときのうなだれるため息、「いけー」一生懸命応援する声、1時間半と短い時間でしたが色々な表情、感情をおもいきり出すことができました。

職員と一緒に汗を流した利用者の皆さんは勝った組も、負けた組も「次は、次も、勝ちます」と次回開催されることを期待されていました。



白組優勝!!



No48. おひな様 DE ファッション SHOW

3/3 ひなまつり



ホールにはレッドカーペットが鮮やかに敷かれています。

心地よいミュージックが流れ出すと、入口から着物や洋服に着飾ったモデル達が黒服のエスコートで「私を見て」と言わんばかりに歩いてきます。帽子を被ったり、眼鏡を頭にかけたり、ネックレス、毛皮を首に巻いたり、それぞれのファッションでお客様の注目を独り占めされました。いつもとは違ったひな祭り会でしたが、女性の祭りを女性の好きなファッションショーで盛り上がりました。



No49. 手作りのおいしさ

3/8 調理実習



エプロンを羽織り、バンダナを巻き、料理好きな利用者さんが苓山寮、第二苓山寮から集まってきました。そうです今日は月に1度の調理実習の日です。それぞれの施設から、2~3名ずつGHの調理場をお借りして実施しています。本日のメニューは「ハンバーグ」です。

野菜を切る人、味噌汁を作る人、肉をこねる人、米を研ぐ人それぞれの役割分担で本日のランチはできあがります。もちろんハンバーグ料理で一番重要な肉をこねるのは皆さん全員にやってもらいました。

あの焼き上がるまでのフライパンの中で油が踊る音、蓋を開けたときの湯気と肉汁のにおいがたまりません。料理の1番の楽しみではないでしょうか?できあがったハンバーグ定食はみんなでいただきました。自分の番がくるのをとても楽しみにされています。



ハイできあがり↑

いただきまーす→



たくさんのお客様各位のご協力により、昨年9月より着工していました新GHの落成式を迎えることができました。

利用者、職員一同待ち遠しく思っており、とても喜んでおります。

「つばさ」と「かなで」のホールには一面に広がる窓からと天窓から差し込んでくる光が施設を明るくし、外の空気を深呼吸できるウッドデッキが特徴のGHです。開所の日が楽しみです。

式典では、理事長からのお礼のあいさつ、施工業者様への感謝状、GH世話人3名への永年勤続表彰をし閉会いたしました。

一部ではございますが、紹介したいと思います。

[落成式]



[永年勤続表彰]



【GH 紹介】



正面左棟：つばさ 正面右棟：かなで

玄 関

No50 パート2



居室



共同生活室



職員室



洗面所



トイレ



側面非常口



市道側より



ウッドデッキ